

ネイティブ大腸菌L-アルギニン脱炭酸酵素

Cat. No. NATE-0033

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、アルギニン脱炭酸酵素（EC 4.1.1.19）は、化学反応を触媒する酵素です：
 $\text{L-アルギニン} \leftrightarrow \text{アグマチン} + \text{CO}_2$ 。したがって、この酵素は1つの基質、L-アルギニンと2つの生成物、アグマチンおよびCO₂を持っています。この酵素は、炭素-炭素結合を切断するカルボキシライザーに特に属するライターゼのファミリーに属します。1つの補因子、ピリドキサルリン酸を使用します。

別名 アルギニン脱炭酸酵素; EC 4.1.1.19; 9024-77-5; SpeA; L-アルギニンカルボキシラーゼ; L-アルギニン脱炭酸酵素; ADC

製品情報

由来	大腸菌
EC番号	EC 4.1.1.19
CAS登録番号	9024-77-5
活性	5-15 ユニット / mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 5.2の条件下でL-アルギニンから1分あたり1.0μモルのCO ₂ を放出します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C